

川越高校図書館だより 2020年4月号

初めまして、4月から司書に就任しました松田です。よろしくお願いします。

新型コロナウイルスの感染が広がり、家で過ごす時間が多くなってきました。しかし、この状況をマイナスに考えるのではなく、「家でいろいろなことができる時間が増えた」、こう考えると気持ちが楽になりませんか？ぜひ家での活動の選択肢に〈読書〉を取り入れてみてください。

～今こそ、本に親しもう！～

読書にもいろいろな方法があります。例えば・・・

① 家にある本を読む

新しく本を買って読むばかりが読書ではありません。すでに家にある本を読むことも立派な読書です。小さいときに読んだ本を、今改めて読み返してみると新たな発見があるかもしれません。家族が持っている本を借りてみるのもいいと思います。

② 電子書籍で読む

「青空文庫」などの無料で読める電子書籍がありますので利用してみてください。電子書籍の無料公開を行っている出版社もあります。書店に行くのも難しい今、身近にあるスマホで読書をするのはいかかでしょうか。

③ 教科書を読んでみる

生徒のみなさんに一番身近な本といえば、教科書ではないでしょうか。いきなり小説などを読むのは大変という人にオススメです。文章に慣れるだけでなく、勉強の習慣づけにもなります。

～今こそ、本に親しもう！～

ざっとあげたように、家でできる読書にもさまざまな方法があります。自分の状況に合わせた方法で本を読んでくれたらと思います。

本は、知識を得るだけでなく、心を豊かにしてくれるものでもあります。家での時間が窮屈に感じてきたら、読書をして〈本の中の世界〉に出かけてみてください。

豆コラム 本の種類について

本といっても、単行本とか新書とか文庫とか、いろいろな言い方がされます。そんな種類の話です。

- 単行本・・・その本単独で刊行されたもの。表紙の固いハードカバーや柔らかいソフトカバーなどさまざまな形式がある。内容もさまざま。新作としてすぐ読める反面、価格は高め。
- 文庫本・・・主に小説の単行本の中で人気があったものを安く販売するもの。加筆や解説など+aの要素を加えていることが多い。単行本より安く小さいが文庫本になるために数年必要。
- 新書・・・縦長い形をした本。実用書系のイメージが強いが小説もある。だいたい3時間くらいで1冊が読めるようになっているとされる。入門的なものも多い。
- 大型本・・・単行本よりも大きい本の総称。美術書や図鑑、写真集などに多い。